

水素混焼ガスタービン 発電装置



2026
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

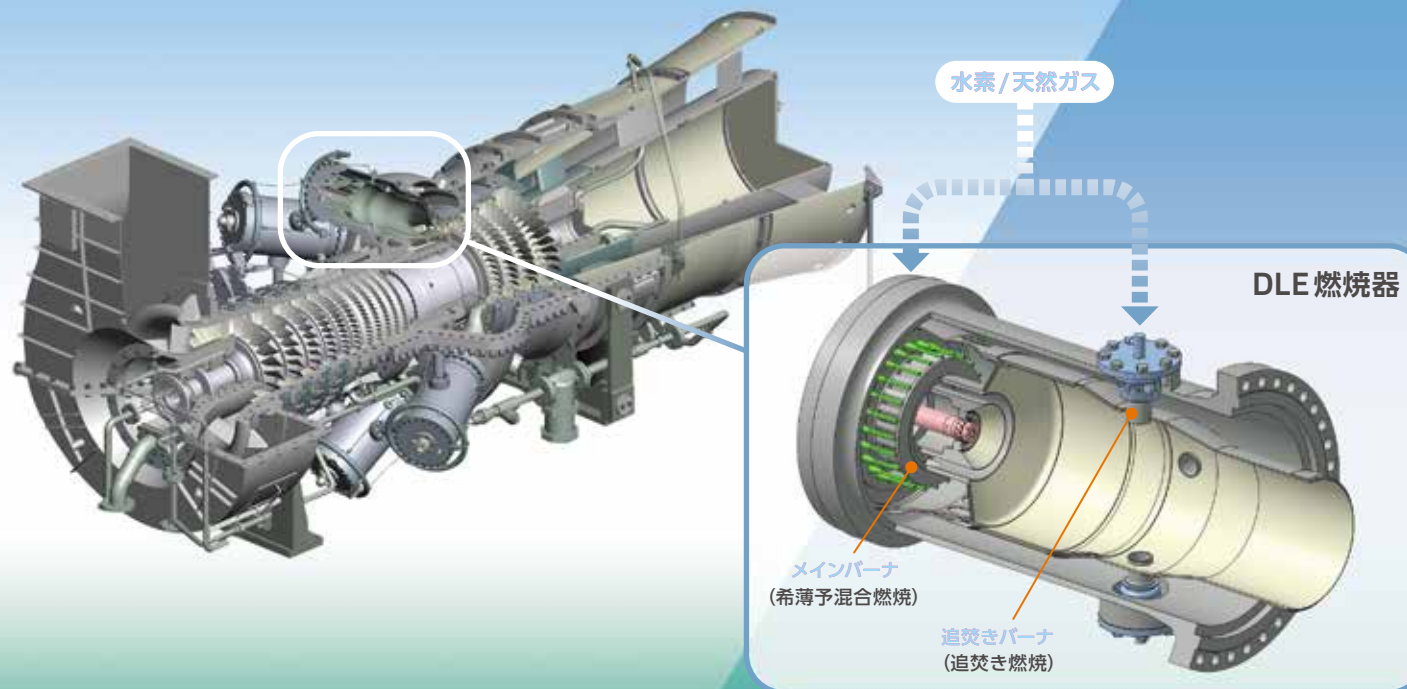
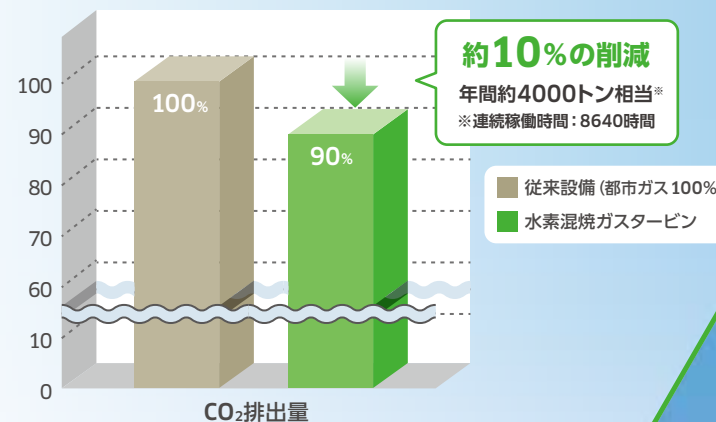
2023 年：初回登録

川崎重工業株式会社

水素混焼により、発電時における CO₂ 排出量の削減に貢献します

水素混焼ガスタービン発電装置は、従来の天然ガス専焼ガスタービン本体を改造することなく水素混焼が可能であり※、ほぼ同等の発電効率を維持しながら発電時におけるCO₂排出量を約10%削減できます。

※水素燃料設備と燃料混合装置を増設する必要があります。



製品紹介

当社の実績豊富なM7A-03Dを踏襲し、水素混焼DLE®燃焼器を搭載した水素混焼ガスタービン発電装置

※ Dry Low Emission の略。水や蒸気の噴射に拠らず燃焼温度を低く制御することで、NOx 排出量を削減する方式

特長

- 中・小型産業用ガスタービンです
- 水素0～30vol%の任意の割合で混焼することができます